

国連総会ボランティア決議（2024年）

「持続可能な開発目標を達成し、誰一人取り残さないためのボランティア活動の強化」決議のポイント

- ボランティア活動に関する認識**: ボランティア活動を通じて貢献したいという人々の普遍的な要望と、十分な保険や身体的・精神的なサポートを通じてボランティアの安全と安心を確保することの重要性を認識（前文（以下PP）2）。
- すべての人々のボランティアへの参加**: 年齢、ジェンダーを問わず、移民、難民、障がい者、その他の周縁化されたグループの包括を促進するよう奨励（主文（以下OP）9）。
- 若者の関与**: 若者がボランティア活動において果たす重要な役割を強調し、意思決定プロセスへの彼らの参加の必要性を認識（PP3）。ボランティア活動への参加が、若者の雇用や、働きがいのある人間らしい、生産的な仕事への成功的な移行に寄与することを確認するものであることを改めて表明し、加盟国に対し、若者がそのような機会を利用できるようにするために必要な行動をとるよう要請（OP10）。
- 障害者**: 障害者のボランティア参加を歓迎し、彼らの完全、平等かつ有意義な参画を促進するために障壁を取り除く重要性を強調（PP4）。
- デジタルボランティア**: ボランティア活動の進化、特にデジタルボランティアの重要性を認識。デジタルディバイドに対処する必要性を強調（PP8, OP18）。
- 防災**: 防災や災害からの復興におけるボランティアの貢献を認識（OP3）。
- 高齢者**: 高齢者のボランティア活動への貢献を認識し、ボランティア活動を生涯学習の機会とするよう奨励（OP9）。
- ジェンダー**: 加盟国に対し、既存の障壁に対処し、男女平等とすべての女性と女兒のエンパワーメントを達成することにより、教育、雇用、ボランティア活動、その他生活の全ての側面への参加の両立を可能とすることで女性のボランティア活動への参加を支援するよう奨励（OP12）。
- ボランティアの保護**: 各国にボランティアの安全と福祉を確保し、彼らの活動に支援的な環境を整えるよう要請（OP15）。
- 2030アジェンダとの統合**: ボランティア活動を2030アジェンダに統合する緊急性を強調し、ボランティアがリソースや専門知識を動員する上で不可欠であることを認識（OP16）。
- UNV特別基金**: そのような立場にある加盟国に対し、国連ボランティア計画（UNV）の継続的な活動を確保するため、同基金への拠出を強化するよう奨励（OP17）。
- 各国の政策**: 各国がボランティア活動を国家政策や戦略に統合し、SDGs達成のためのボランティア活動を支援するよう奨励。すべての人々がボランティア活動に参加できるよう、障壁を取り除くための知識を共有することを奨励（OP18）。
- 将来の関与**: 持続可能な開発のための国際ボランティア年(2026年)の計画と実施への全ての関係者の参加を奨励(OP20)。
- 事務総長報告**: 国連総会第82回会期での実施状況についての報告を事務総長に要求（OP21）。